

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

大 学 名	岡山大学
整 理 番 号	A-①-6
事 業 名	東アジア高等教育圏を見据えた中核的高度実践人＝アジアクラット育成プログラム

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント) <p style="margin-top: 20px;"> 本プログラムは、キャンパス・アジアパイロットプログラムの取組や成果を踏まえ、東アジアを舞台に国際的に活躍できるグローバル人材であるアジアクラットを岡山大学、吉林大学及び成均館大学校が共同で育成することを目的とした全学的で大規模な取組である。 </p> <p> これまでの実績に基づく短期及び長期の様々なプログラムが実施されており、他にも薬学系で学生受入を開始したダブル・ディグリープログラムや、自然・環境生命学系でも学生交流が開始されるなど、全学挙げての取組となっている点は評価できる。また、キャンパスアジア共通科目や冠科目の開設、教科書の編纂、ラーニングアグリーメントの実施など、特色ある取組が実施され、キャンパスアジア担当教員や部局教員、中国語・韓国語教員が連携して支援する体制ができている点も評価できる。さらに、派遣及び受入ともに高い数値目標を掲げながらも、それらの交流実績を初年度から達成できた点は特筆に値する。 </p> <p> 一方で、派遣は短期の語学研修が多くを占めていることから、今後は3か月以上の派遣、ダブル・ディグリープログラム参加者の増加が望まれる。また、マルチリンガルという高い語学目標値を掲げている点も本プログラムの特徴であることから、語学試験の必修化など、その目標達成度を評価できるシステムの構築に向けて努力していくことや、当初の目標であった連合大学院の設置など、よりプログラムを深化させるとともに、学習成果の評価や外部評価システムの確立などを期待したい。 </p> <p> 最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的に事業を展開していくことが期待される。 </p>	